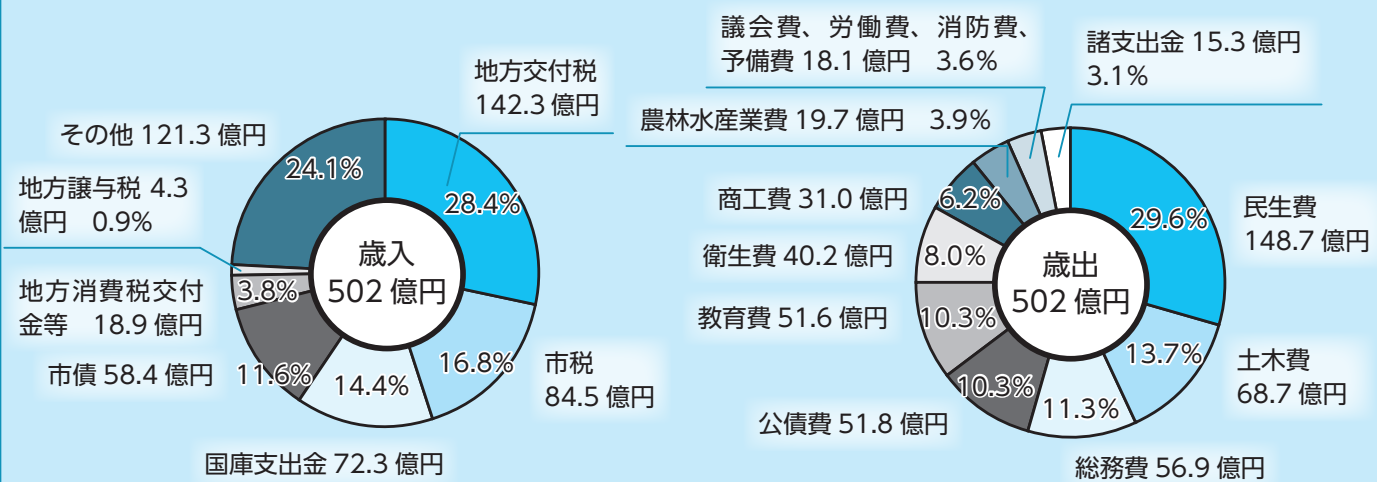


## 一般会計予算の概要



歳入	歳出		
地方交付税 国(国税など)からの交付金	民生費 児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など	公債費 借入金の元金と利子の返済	商工費 商工業の発展、観光の振興など
市税 市民税、固定資産税など	土木費 道路・公園・市営住宅の整備、除排雪など	教育費 小・中学校教育、生涯学習など	農林水産業費 農業・林業・畜産の振興など
国庫支出金 使い道を特定された国からの補助金など	総務費 住民票の発行などの一般的な事務	衛生費 ごみ処理、健康診断など	議会費、労働費、消防費、予備費 議会運営、消防負担金など
市債 長期的な借入金			

## 平成 31 年度 市政方針と予算

予算総額 920 億 7,400 万円  
 一般会計 502 億円  
 特別会計 207 億 7,200 万円  
 企業会計 211 億 200 万円

2月25日から市議会定例会が開かれ、松野市長が平成31年度の市政運営の基本姿勢を示す市政方針を説明しました。その市政方針と総合計画に掲げた6つの柱として位置付けた事業の主な内容を紹介いたします。

# 新たな時代への一歩

## 平成 31 年度予算 重点分野の取り組み

人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市

市民主体による協働のまちづくり

地域特性を活かした魅力あふれるまちづくり

次世代につなげる持続可能なまちづくり

岩見沢

重点分野6つの柱

防災・防犯・地域コミュニティ  
地域で支え合う 安全・安心なまち

子ども・子育て・教育・文化  
豊かな心と生きる力をはぐくむまち

健康・福祉・医療  
みんなが健康で元気に暮らせるまち

都市基盤・環境  
自然と調和した 快適で暮らしやすいまち

産業経済・交流  
活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

市民参画・行財政運営  
市民とともに創る 持続可能で自立したまち

「地域力」を結集し、オール岩見沢・チーム岩見沢のまちづくり！

選ばれるまちへ

岩見沢市はこれまで、平成27年度に策定した総合戦略において、ICT環境をはじめとする市の強みなどを最大限活かしながら、地方創生という大きな目標に向かって、多くの人に「岩見沢に住んでみたい、住み続けたい」と思ってもらえるような選ばれるまちを目指し、あらゆる施策をバランスよく総動員して取り組んでまいりました。

その中でも、「スマート農業」や「北大COO『食と健康の達人』」、健康経営都市宣言、さらには、昨年、日本計画行政学会計画賞の最優秀賞を受賞した、あそびの広場を核とする「えみふる」の子ども・子育て支援の取り組みなどは、全国的にも高い評価をいただいております。新しい時代への先駆けとなるプロジェクトであると考えています。

また、これらの施策を進めた結果、市の年少人口が転入超過に転じるなど、その成果がしっかりと現れています。こうした動きを定着・加速していくため、新年度は総合戦略の総仕上げを図り、その成果や課題、要因なども詳しく分析し、新たに策定する次期総合戦略に反映させます。さらに、昨年4月にスタートした『第6期岩見沢市総合計画』で掲げ

次のステージへ

た将来の都市像である「人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市」の実現に向けて、新年度から開始する行政評価制度により、継続的な検証と改善に取り組みます。

これまで積み重ねてきた取り組みとその成果を基礎として、将来に向けた各施策のレベルアップを図り、挑戦する姿勢を常に忘れず、市民の皆さんとともに、オール岩見沢、チーム岩見沢で新たな時代への一歩を着実に進めます。

徹底した現場主義のもと、市民の皆さんの中に積極的な出向き、対話を重ね、ともに知恵を絞り、汗をかきながら、市民の声を大切にしたい。市民本位の市政、開かれた市政の実現に努めます。

そのためには、市役所は、市民の役に立つ所であり、市民の皆さんのために仕事をするという基本を職員とともに再認識し、市役所のレベルアップと市政のネクストステージを目指して、市役所改革に取り組みんでいきます。



防災・防犯・地域コミュニティ

地域で支え合う 安全・安心なまち

地域防災力の向上

防災対策事業 1億1,249万円

避難所などの電源設備の充実

拠点となる避難所を中心に、非常時を想定した電源設備などの確保・充実を図ります。



総合的な雪対策の推進

地域除排雪活動支援事業 4,107万円

冬の暮らしの安全・安心の確保

町会・自治会などが行うボランティア除雪への支援、高齢者世帯などの雪下ろしや間口除雪の助成など、冬の暮らしの安全・安心の確保・向上を図ります。



健康・福祉・医療

みんなが健康で元気に暮らせるまち

健康づくりの推進

健康寿命延伸事業 8,214万円

各種健診などの充実

健康相談や健康教室、健康まつりなどを通じ、市民の皆さんの健康意識を高め、健康寿命の延伸を目指します。



障がい者福祉の充実

障害者文化芸術活動支援事業 2,567万円

2019 障がい者国際芸術文化祭

アール・ブリュット\*作品の展示や舞台芸術の発表、国際研究フォーラムなど、芸術を通して障がいへの理解を深め、共生社会の実現を図ります。



産業経済・交流

活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

商工業の振興と中心市街地の活性化

公募型プレミアム付商品券等発行支援事業 8,921万円

プレミアム付商品券

プレミアム付商品券やプレミアム建設券を発行する商店街や団体などへの事業費の一部を支援し、地域経済の好循環を促進します。



雇用の拡大と就業環境の充実

ICT活用型総合戦略推進事業 4,800万円

ICT基盤のさらなる活用

無人ロボットトラクターの社会実装に向けた実証実験を行うなど、ICT\*をフル活用し、地域経済の活性化を推進します。



6つの柱のポイント

子ども・子育て・教育・文化

豊かな心と生きる力をはぐくむまち

子ども・子育て支援の充実

母子保健推進事業 5,441万円

母子に寄り添う切れ目のないサポート

出産前から乳幼児期まで、切れ目のない支援を目指します。また、妊婦健診、新生児訪問、乳幼児健診に加えて、新生児聴覚検査、産婦健診、産後ケアを新たに実施します。

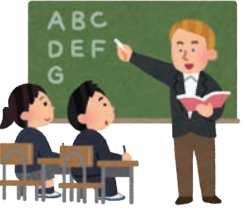


学校教育の充実

学力向上対策事業 341万円

確かな学力の定着

中学生を対象とした土曜学習会や英検学習会、小学生を対象とした土曜キッズ英会話などを開催し、子どもたちへの確かな学力の定着を図ります。



都市基盤・環境

自然と調和した 快適で暮らしやすいまち

魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成

民間住宅耐震改修等助成事業 672万円

ブロック塀の耐震改修

旧耐震基準で建設された木造住宅を対象としてきた耐震改修の費用の一部助成などを、ブロック塀にも拡充し、居住環境の安全の向上を図ります。



地域情報化の推進

高度情報通信基盤整備事業 2億8,493万円

情報通信格差を解消 地域 BWA 整備

無線を用いた高速データ通信の標準規格である BWA\*の基地局整備などを進め、さまざまな分野での ICT 利活用の可能性を広げます。



市民参画・行財政運営

市民とともに創る 持続可能で自立したまち

開かれた市政の推進

広報活動事業 6,083万円

市と市民の皆さんで情報を共有

広報いわみざわや地デジ広報、ホームページ、SNS、情報配信モニター、コミュニティ FM、街頭放送など、発信する情報に適した手段で、効果的に市民の皆さんに情報をお届けします。



持続可能な行財政基盤の確立

市庁舎建設事業 3億8,000万円

市庁舎の建設

市民の皆さんが利用しやすく、防災機能なども備えた新庁舎の建設工事に着手します。



市は、人と緑とまちがつながり、ともに育み未来をつくる健康経営都市のの実現に向けて、重点分野として定めた6項目を柱に、第6期岩見沢市総合計画や総合戦略などに基づく施策を着実に推進し、持続可能で自立した地域経営の確立を目指して取り組みを進めていきます。

市議会の様子は YouTube で



予算概要・重点分野の取り組み



なお、平成31年度総合戦略事業予算は、29事業、7億3千66万円を計上したところです。厳しい財政環境の中、財政調整基金から9億3千万円を繰り入れますが、持続可能な自立した行財政基盤の確立に十分留意し、重点的に取り組む分野をはじめ、施策全般にわたる的確に対応する積極的な予算を編成しました。

平成31年度の予算は、昨年見直しを行った中長期財政計画を踏まえ、選択と集中の視点に立ち、事業目的別予算編成の手法により、必要な事務事業の新設、既存の事務事業の見直しや再構築を行い、各事業の相乗効果による好循環の拡大を図るとともに、特に最終年度を迎える総合戦略の事業展開などに高める取り組みに予算を重点的に配分しました。その結果、一般会計の総額は、502億円、前年度比1.0%の増、特別会計と企業会計を合わせた全会計の総額は92億7千400万円、前年度比0.5%の減となりました。

用語解説

- \* アール・ブリュット 美術教育を受けていない人などが、既成の表現法にとらわれず自由に制作した生の芸術作品のこと
- ◇ ICT (情報通信技術) コンピュータやインターネットに関する技術のこと
- † BWA 広帯域移動無線アクセスシステムの略で、無線を用いた高速データ通信の標準規格のこと